

## 世界紛争の早期終結と恒久平和を望む決議

特定の人種への迫害、大量虐殺が行われた第2次世界大戦後、この惨禍を二度と繰り返さないとの決意のもと「すべての人間は、生れながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」という基本的人権尊重の原則を定めた「世界人権宣言」が国連で採択されて75年。

しかし、10月、パレスチナ自治区のガザ地区を支配するイスラム組織ハマスとイスラエル軍との大規模な戦闘が始まり、ガザ地区では、多くの子どもたちを含む市民が犠牲となり、深刻な人道危機が続いています。さらに、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻も1年10か月経っても今なお続いています。

日野市は、昭和57年に「核兵器廃絶・平和都市宣言」を制定、平成25年に平和首長会議に加盟、令和3年には「平和と人権課」を設置し、平和の実現に向けて取り組んでいます。

日野市と友好関係にあるウクライナをはじめガザ地区など、世界で続く深い分断と対立の中、民間人が残虐な戦争犯罪の脅威に直面している今、日野市議会は、世界恒久平和に向けた固い決意のもと、市民の皆様と共に、全ての国々の一刻も早い紛争の終結、特に、イスラエルは軍事行動を即時停止し撤退することを求めます。

また、国際社会には軍事力ではなく、対話と外交により速やかな平和回復、事態の収束に努力することを強く求めます。

以上、決議します。

令和5年12月15日

日野市議会